

# 社会資本総合整備計画

## 網干南地区都市再生整備計画

平成 22 年 8 月 6 日

兵庫県姫路市

# 都市再生整備計画(第3回変更)

あほしみなみ  
網干南地区

兵庫県 姫路市

平成22年8月6日

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	姫路市	地区名	アボシミナミ 網干南地区	面積	606.3 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

### 目標

地域住民とともに、地域資源を活用したまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。

1. 集客能力の高い施設を整備し、他地域からの来訪者の増加を図る。
2. 地域資源を活用した回遊ルートを整備し、回遊人口の増加と地域の賑わいを創出する。
3. 地域コミュニティの拠点を整備し、地域住民のまちづくりを支援する。

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、姫路市の中心市街地から南方約10kmの市域の南西部に位置している。古くは江戸時代から、揖保川流域の米や醤油などを扱う海運拠点として栄え、おいに発展していた歴史ある土地である。現況は、国道250号が東西に走り、臨海部には大規模な工場が並んでいる。また、地区の中心部には商店街があるが、300以上もあった商店は約3分の1に減り、高齢化が進み活気を取り戻せない状況にある。網干沖の人工島には、兵庫県流域下水道の終末処理場があり、(仮称)姫路市新美化センターの建設が予定されているなど、清掃施設による地区のイメージダウンが懸念される中、逆にこれを起爆剤として地区内を活性化させるべく、地域住民がワーキンググループを設置し、網干沖に建設予定の健康増進施設と地区内に点在している古刹・名刹、趣のある町並みなどを関係させたまちづくりの手法などを研究している。

課題

地区内には、豊かな歴史的・文化的資源、自然的資源などの観光資源があるが、地区内に人が集まる核となる施設がないためこれらの資源を活かしきれず、かつての賑わいを取り戻せない要因となっている。

- ・地域活性化のため、人が集まる核となる施設として、集客能力の高い健康増進施設・芝生広場などの整備が必要である。
- ・他地域からの来訪者を、地区内の観光資源に回遊させる手段として、コミュニティバス、レンタサイクルなどの交通手段の整備が不可欠である。
- ・当地区は、地域住民がまちづくりのための任意団体を結成し活動するなど、地域住民のまちづくり意識は高いが、活動拠点となる施設がないため、まちづくり活動の機能が十分に働いていない。

将来ビジョン(中長期)

- 豊かな観光資源と地域住民の高いまちづくり意識を活かし、姫路市西部における新たな交流拠点となることを目指す。
- ・人が集まる核となる施設として、集客能力の高い健康増進施設・芝生広場などを整備し、他地域からの交流人口を増加させる。
  - ・地区内にある豊かな観光資源を活用するため、PR活動を支援するとともに、コミュニティバス、レンタサイクルなどの交通手段を整備し、賑わいの創出を図る。
  - ・地域住民のまちづくり活動の拠点となる施設を整備し、地域住民が目指すまちづくりを行政が支援することにより、官民協働によるまちづくりを実現する。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
公共施設の利用人数	人/年	既存施設である市民センター、公民館及び図書館に加え、今後整備する健康増進施設、芝生広場など公共施設の利用人数	健康増進施設、芝生広場など、集客能力の高い施設を整備し、他地域からの交流人数の増加を図る。	298,000	17	548,000 23
地域への回遊人数	人/年	地域内の観光資源、商店街などを利用する観光客人数	健康増進施設、芝生広場などに訪れた観光客を、コミュニティバス、レンタサイクルなどの交通手段を整備することにより、当地区が持つ観光施設などに回遊する観光客を増加させる。	3,500	17	16,000 23
地域内におけるイベント会議開催件数	件/年	地域内における自治会等の会議開催数及び各種イベント開催数	地域コミュニティの拠点施設として、地域住民のまちづくり活動の活性化を図る。	150	17	250 23

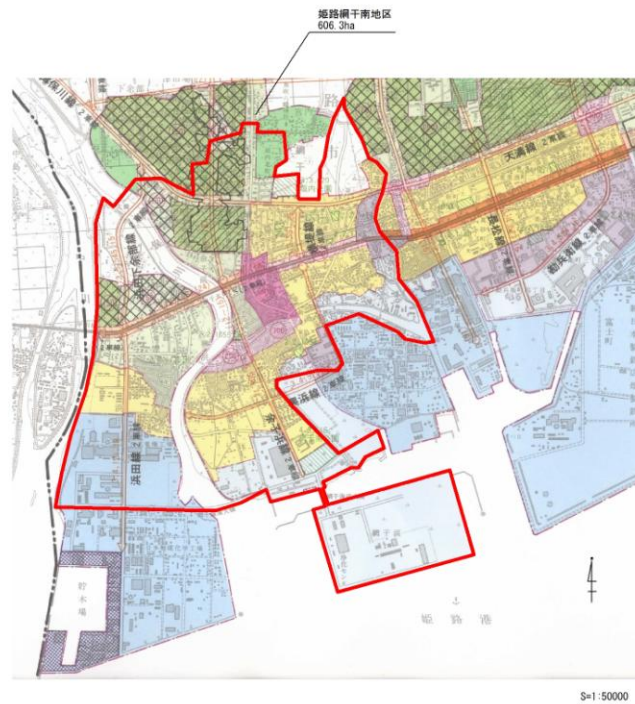
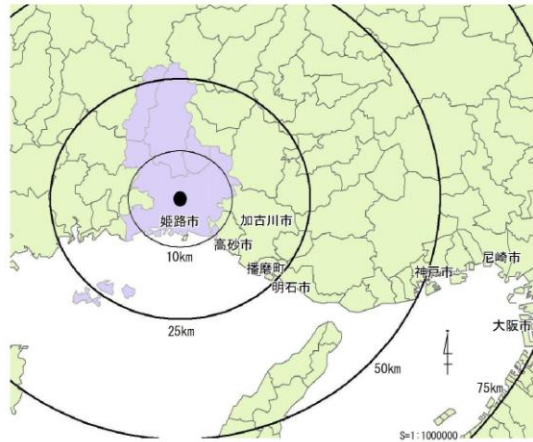
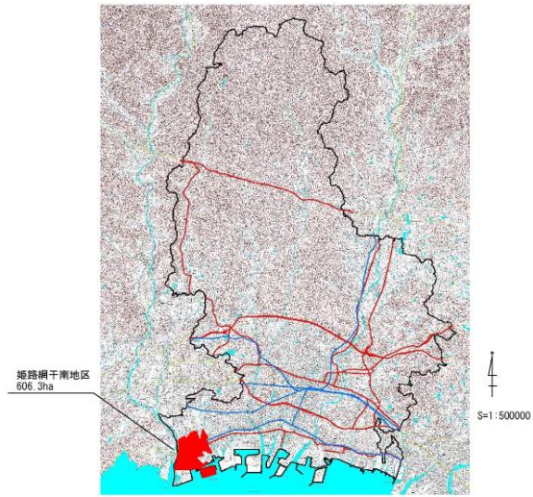
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・集客力のある施設を整備し、他地域からの来訪者の増加を図る。</p> <p>プール・入浴施設・多目的ホールなどを備えた健康増進施設、西日本最大級のグラウンドゴルフコースを備えた芝生広場を整備し、また、既存の公園にある相撲場に屋根を設置するなど集客能力の高い施設を整備することにより、地域住民に憩いの場を提供し、他地域からの来訪者の増加を図る。</p> <p>また、関連事業として整備する、ごみ焼却施設、再資源化施設及び啓発管理施設においても、施設見学の受け入れや環境啓発活動を積極的に推進することにより、他地域からの来訪者の増加を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生広場整備事業 (基幹事業、地域生活基盤施設)</li> <li>・網干南公園相撲場改良事業 (提案事業、地域創造支援事業)</li> <li>・健康増進施設整備事業 (提案事業、地域創造支援事業)</li> <li>・ごみ焼却施設整備事業 (関連事業)</li> <li>・再資源化施設整備事業 (関連事業)</li> <li>・啓発管理施設整備事業 (関連事業)</li> </ul>
<p>・地域資源を活用した回遊ルートを整備し、回遊人口の増加と地域の賑わいを創出する。</p> <p>地区内に点在する豊かな歴史的・文化的資源、自然的資源を有効活用するため、地域資源マップを作成するとともに、観光案内標識を設置するなど地域住民が行うPR活動を支援し、また、中川堤防道路を整備し、コミュニティバス運行事業及びレンタサイクル事業を整備するなど、回遊ルートを整備することにより、既存の観光資源と今回整備予定の施設群を連携させて、総合的な観光交流地として地域の賑わいを創出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道網干129号線・同316号線整備事業 (基幹事業、道路)</li> <li>・レンタサイクル事業 (関連事業)</li> <li>・地域資源PR活動支援事業 (提案事業、地域創造支援事業)</li> </ul>
<p>・地域コミュニティの拠点を整備し、地域住民のまちづくりを支援する。</p> <p>地域住民が行うまちづくりの拠点施設としてあぼしまち交流館を整備する。建物は、市が地域団体への補助金を支出することによって整備し、運営・管理についても地域住民が自ら行う。活動拠点を整備することにより地域住民のまちづくり意識が高まり、行政が地域住民開催のイベント等まちづくり活動を支援することにより、官民協働のまちづくりを実現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あぼしまち交流館整備事業 (基幹事業 高次都市施設、提案事業 地域創造支援事業)</li> </ul>
<p>その他</p> <p>現在、新美化センター建設に伴い、これを契機として網干地域を活性化すべく、姫路市と地域住民で協議会を設置している。地域住民は、さらに具体的にまちづくりを検討すべく、ワーキンググループを設置している。ワーキンググループは平成18年1月に設置され、あぼしまち交流館の機能及び配置、あぼしまち交流館を核とした地域活性化方策等の検討を行っており、平成18年11月現在、14回開催されている。当グループは、会議開催のほか、まちづくり活動の先進地である奈良県奈良市、広島県竹原市を視察するなど、精力的に活動を行っている。</p>	



都市再生整備計画の区域

<p>網干南地区(兵庫県姫路市)</p>	<p>面積</p>	<p>606.3 ha</p>	<p>区域 姫路市網干区網干浜、新在家、垣内中町、興浜、浜田、余子浜他</p>
----------------------	-----------	-----------------	---



凡 例

区 分	
	姫路市界
	都市計画区域
	市街化区域
	第一種低層住居専用地域
	第一種低層住居専用地域
	第二種低層住居専用地域
	第一種中高層住居専用地域
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	第二種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	工業地域
	工業専用地域
	特別工業地区
	高度地区(第一種)
	高度地区(第二種)
	高度利用地区
	防火地域
	準防火地域
	臨港地区
	駐車場整備地区
	公園・緑地・墓園
	都市計画道路
	都市計画河川
	都市高速鉄道
	地区計画区域
	集落地区計画区域